

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
設置者名	学校法人名古屋大原学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程 (商業実務関係)	国際ビジネス科 観光サービスコース	夜・通信	180 単位時間	160 単位時間	
	ホテル・ブライダル科 ホテルコース	夜・通信	690 単位時間	160 単位時間	
	ホテル・ブライダル科 ブライダルコース	夜・通信	690 単位時間	160 単位時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.ohara.ac.jp/info/report/hamamatsu/">https://www.ohara.ac.jp/info/report/hamamatsu/</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
設置者名	学校法人名古屋大原学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

下記ホームページにて公表する。  
<https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/yakuin.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤 (学外者)	元上場企業 役員秘書	2022. 10. 15 ～2026. 10. 1	経営全般及び利益相 反の監督機能
非常勤 (学外者)	税理士	2022. 10. 15 ～2026. 10. 1	経営全般及び利益相 反の監督機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
設置者名	学校法人名古屋大原学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>●授業計画書(シラバス)の作成過程 毎年度2回(7月、1月)行われる「教育課程編成委員会」の協議結果を参考に、翌年度のカリキュラムを修正・確定し、カリキュラムに基づき授業計画書(シラバス)を作成し公表する。</p> <p>●授業計画の作成・公表時期</p> <p>①教育課程編成委員会(7月・1月) ②翌年度のカリキュラム作成・完成(12月) ③翌年度の授業計画(シラバス)作成・完成(3月) ④学園HPにて公表(4月)</p>	
授業計画書の公表方法	<p>下記ホームページにて公表する。 <a href="https://www.ohara.ac.jp/info/report/hamamatsu/">https://www.ohara.ac.jp/info/report/hamamatsu/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学習成果の評価は、各学生の学習成果に基づき、本校があらかじめ設定した成績評価の方法・基準により、厳格かつ適正に履修認定を実施する。</p> <p>1. 学業成績は、授業科目ごとの定期試験(追試験及び再試験を含む。)によりその評価を行う。ただし、授業科目によってはその他の方法をもって評価を行うことがある。</p> <p>2. 学業成績は、優、良、可、不可とし、成績評価の方法と基準はシラバスにおいて科目ごとに定めるものとする。可以上を合格とし、授業科目の履修認定を行う。 ただし、授業科目ごと出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない者は、履修認定を行わないものとする。</p> <p>3. 再試験で合格した場合、学業成績は可とする。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  
学業成績として評価された優、良、可を5、4、3の数値に換算し、その数値の平均値により指標を設定する。

学科ごとの指標数値に基づき成績の分布状況を把握している。

#### 1. GPA 制度

授業科目の成績評価に対して点数(Grade Point)を与え、その点数の合計を、履修登録した総科目数で割って算出した平均値のことを示す。学修への取り組みを質的に把握するための指標である。不合格の科目となった場合も算出対象となるので、計画的な履修が必要となる。

#### 2. 成績評価と GP

成績評価	GP	点数	備考
優	5	100点～80点以上	(概ね、上位40%)
良	4	80点未満～60点以上	(概ね、中位40%以内)
可	3	60点未満～40点以上	(概ね、下位20%)
不可	0	40点未満・欠席	
認定	-	-	対象外とする

#### 3. GPA 算出方法

$GPA = (\text{科目 GP}) \text{の合計} / \text{履修登録科目の合計}$  ※小数点第2位下四捨五入

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

下記ホームページにて公表する。  
[https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/gpa\\_hamamatsu.pdf](https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/gpa_hamamatsu.pdf)

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育基本法その他法令の精神に則り『①早期大人化教育：精神的・経済的な独立意識と社会やクラスの形成者意識の要請』及び『②学科の専門教育：資格試験に合格する能力と就職に必要な能力の養成』を掲げている。</p> <p>所定の修業年限を在学し、学科ごとの所定の科目を履修した者が学生便覧に定める下記、卒業基準を満たした場合に課程修了の認定を行い、卒業証書を授与する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>卒業基準</p> <p>●国際ビジネス科</p> <p>(1) 出欠席基準</p> <p>①前期（4月～9月）欠席換算10日以内②後期（10月～3月）欠席換算10日以内</p> <p>(2) 資格基準</p> <p>①総合旅行業務取扱管理者試験 ②サービス接客検定準1級 ③下記のいずれか1つ以上 ・国内旅行地理検定3級 ・海外旅行地理検定3級 ・国内旅程管理主任者試験</p> <p>(3) 履修科目基準</p> <p>全ての科目において不可のないこと</p> <p>注：学納金の滞納がある場合には、原則として卒業を認めない。</p> <p>●ホテル・ブライダル科</p> <p>(1) 出欠席基準</p> <p>①前期（4月～9月）欠席換算10日以内②後期（10月～3月）欠席換算10日以内</p> <p>(2) 資格基準</p> <p>①レストランサービス技能検定試験3級②サービス接客検定準1級 ③下記のいずれか1つ以上 ・ホテル実務技能認定試験上級 ・色彩検定3級</p> <p>(3) 履修科目基準</p> <p>全ての科目において不可のないこと</p> <p>注：学納金の滞納がある場合には、原則として卒業を認めない。</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<p>学生便覧として入学時に学生、保護者等に配布するとともに、学生便覧交付希望者には申出に応じて受付にて配布している。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大原トラベル・ホテル・ブライダル専門学校浜松校
設置者名	学校法人名古屋大原学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf">https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf">https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf">https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf">https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf">https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/zaimu.pdf</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	国際ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間	1,140 単位時間	0 単位時間	750 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,890 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		4人	0人	2人	1人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 旅行業界関連企業から成る「教育課程編成委員会」と密接に連携して、最新の実務知識・技能をカリキュラムに反映。そして、提携企業からの講師派遣や実務経験のある職員が授業を担当。
成績評価の基準・方法
（概要） ●検定試験：試験結果により評価（合格：優 不合格：不可）し、そこに授業態度・取り組み姿勢などの評価を加減し最終評価（優・良・可・不可）とする。 ●実習：出席と取り組み姿勢、課題提出により評価（科目によっては認定試験実施）

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>(1) 出欠席基準          ①前期(4月～9月) 欠席換算10日以内②後期(10月～3月) 欠席換算10日以内</p> <p>(2) 資格基準          ①総合旅行業務取扱管理者試験 ②サービス接客検定準1級 ③下記のいずれか1つ以上          ・国内旅行地理検定3級 ・海外旅行地理検定3級 ・国内旅程管理主任者試験</p> <p>(3) 履修科目基準          全ての科目において不可のないこと</p> <p>※学納金滞納等がないこと</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>・社会人対象資格講座を無料受講可能</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100%)	0人 (0.0%)	2人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ、株式会社日本トラフィックサービス			
(就職指導内容) 就職サポート部(就職支援専門職員)とクラス担任により、個人ごとの適性データを元に個別カウンセリングにより実施。さらに、入社内定後からは、内定職種ごとに実務研修プログラムを設定。電話応対・ビジネスマナーは全職種共通で実施。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国内旅行業務取扱管理者・総合旅行業務取扱管理者			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		

(中退防止・中退者支援のための取組)  
 進路変更希望者には本人と保護者、担任、部長（または校長）を交えて面談を行い、本人の進路希望を聞きとり、保護者の方針や本人の適性等について話し合う場を設けている。また経済的理由による退学希望者には学生支援機構や提携ローンを紹介するなどの支援を行っている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ホテル・ブライダル科 ホテルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間	840 単位時間	0 単位時間	1,050 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,890 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人※		15人	0人	4人※	1人※	5人※	

※生徒総定員数、専任教員数、兼任教員数、総教員数は、ホテル・ブライダル科の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ホテル・ブライダル業界関連企業から成る「教育課程編成委員会」と密接に連携して、最新の実務知識・技能をカリキュラムに反映。そして、提携企業からの講師派遣や実務経験のある職員が授業を担当。
成績評価の基準・方法
（概要） ●検定試験：試験結果により評価（合格：優 不合格：不可）し、そこに授業態度・取り組み姿勢などの評価を加減し最終評価（優・良・可・不可）とする。 ●実習：出席と取り組み姿勢、課題提出により評価（科目によっては認定試験実施）
卒業・進級の認定基準
（概要） (1) 出欠席基準 ①前期（4月～9月）欠席換算10日以内②後期（10月～3月）欠席換算10日以内 (2) 資格基準 ①レストランサービス技能検定試験3級②サービス接客検定準1級 ③下記のいずれか1つ以上 ・ホテル実務技能認定試験上級 ・色彩検定3級 (3) 履修科目基準 全ての科目において不可のないこと ・学納金滞納等がないこと



学修支援等 (概要) ・ 社会人対象資格講座を無料受講可能
-------------------------------------

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	8人 (88.9%)	1人 (11.1%)
(主な就職、業界等) オークラアクトシティホテルマネジメント株式会社、株式会社名古屋東急ホテル、他			
(就職指導内容) 就職サポート部（就職支援専門職員）とクラス担任により、個人ごとの適性データを元に個別カウンセリングにより実施。さらに、入社内定後からは、内定職種ごとに実務研修プログラムを設定。電話対応・ビジネスマナーは全職種共通で実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) ブライダルコーディネーター技能検定試験・レストランサービス技能検定			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
15人	1人	6.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 進路変更希望者には本人と保護者、担任、部長（または校長）を交えて面談を行い、本人の進路希望を聞きとり、保護者の方針や本人の適性等について話し合う場を設けている。また経済的理由による退学希望者には学生支援機構や提携ローンを紹介するなどの支援を行っている。		

分野 商業実務		課程名 商業実務 専門課程	学科名 ホテル・ブライダル科 ブライダルコース	専門士 ○	高度専門士		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,800 単位時間	840 単位時間	0 単位時間	1,050 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			1,890 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
70人※	54人	0人	4人※	1人※	5人※		

※生徒総定員数、専任教員数、兼任教員数、総教員数は、ホテル・ブライダル科の内数

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ホテル・ブライダル業界関連企業から成る「教育課程編成委員会」と密接に連携して、最新の実務知識・技能をカリキュラムに反映。そして、提携企業からの講師派遣や実務経験のある職員が授業を担当。
成績評価の基準・方法
（概要） ●検定試験：試験結果により評価（合格：優 不合格：不可）し、そこに授業態度・取り組み姿勢などの評価を加減し最終評価（優・良・可・不可）とする。 ●実習：出席と取り組み姿勢、課題提出により評価（科目によっては認定試験実施）
卒業・進級の認定基準
（概要） (1) 出欠席基準 ①前期（4月～9月）欠席換算10日以内②後期（10月～3月）欠席換算10日以内 (2) 資格基準 ①レストランサービス技能検定試験3級②サービス接客検定準1級 ③下記のいずれか1つ以上 ・ホテル実務技能認定試験上級 ・色彩検定3級 (3) 履修科目基準 全ての科目において不可のないこと ※学納金滞納等がないこと
学修支援等
（概要） ・社会人対象資格講座を無料受講可能

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (0.0%)	15人 (100.0%)	0人 (0.0%)

(主な就職、業界等) 株式会社スタイルアン、リゾートトラスト株式会社、株式会社呉竹荘、 パルモグループ イズモ株式会社、他
(就職指導内容) 就職サポート部（就職支援専門職員）とクラス担任により、個人ごとの適性データを元に個別カウンセリングにより実施。さらに、入社内定後からは、内定職種ごとに実務研修プログラムを設定。電話対応・ビジネスマナーは全職種共通で実施。
(主な学修成果（資格・検定等）) グライダルコーディネット技能検定試験・レストランサービス技能検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44人	1人	2.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 進路変更希望者には本人と保護者、担任、部長（または校長）を交えて面談を行い、本人の進路希望を聞きとり、保護者の方針や本人の適性等について話し合う場を設けている。また経済的理由による退学希望者には学生支援機構や提携ローンを紹介するなどの支援を行っている。		

## ②学校単位の情報

### a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
全学科	200,000円	720,000円	300,000円	維持費 210,000円 研修・教材費 90,000円
修学支援 (任意記載事項)				
特別奨学生制度 (資格経歴認定特別奨学生、兄弟姉妹等特別奨学生) により学費一部免除				

### b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/hamamatu_itb.pdf">https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/hamamatu_itb.pdf</a>
---

<p>学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）</p> <p>自己評価をベースにした学校関係者評価を行い、この評価結果を広くHPで公表することにより、学校法人の責務として、情報公開を積極的に推し進め、社会に開かれた専門学校を目指すことが社会貢献に寄与する第一歩であると考え。このため、自己評価結果の公表はもとより、学校関係者評価の実施と結果の公表を行い、今後の学校運営の改善を図っていく方針である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主な評価項目：10項目（教育理念目標・学校運営・教育活動・学修成果・学生支援・教育環境・学生募集・財務・法令等遵守・社会貢献地域貢献）につき評価</li> <li>・評価委員会の構成：定数5（関係業界2・卒業生3）</li> <li>・評価結果の活用法：校長を責任者とし、職員の自己評価結果（年度末実施）をベースに評価を実施（翌年度初）。指摘改善箇所があった場合、職員とともに具体的な改善案を検討し、当該年度に反映する。</li> </ul>
--

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
牛田策啓税理士事務所 所長	令和3年11月1日～ 令和5年10月31日(2年)	卒業生
遠州鉄道株式会社 中遠旅行営業所 セールスチーフ	令和4年9月1日～ 令和6年8月31日(2年)	卒業生
社会福祉法人 磐田市社会福祉協議会 成年後見支援センター 社会福祉士	令和5年5月1日～ 令和7年4月30日(2年)	卒業生
社会福祉法人 聖隷福祉事業団 法人本部 人事企画部次長	令和4年10月1日～ 令和6年9月30日(2年)	関係業界
浜松商工会議所 中小企業相談所長	令和4年11月1日～ 令和6年10月31日(2年)	関係業界
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/assessment_h_itb.pdf">https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/assessment_h_itb.pdf</a>		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/assessment_info_h_itb.pdf">https://www.ohara.ac.jp/info/pdf/assessment_info_h_itb.pdf</a></p>
--